

2015 年 6 月 9 日
株式会社グラフィン**IF・HOTARU(光インターフェース)に対応した画像入力ボード HTR-6GX4 を
画像センシング展にて製品展示デモを実施**

テクノホライズン・ホールディングス(JASDAQ:証券コード 6629)傘下の株式会社グラフィン(代表取締役:黒澤智明、本社:東京都品川区)は 6 月 10 日よりパシフィコ横浜にて開催される『画像センシング展 2015』IF・HOTARU コンソーシアムブース(ブース No. 44)にて IF・HOTARU 採用の高画素・高速カメラの画像入力デモを画像入力ボード『HTR-6GX4』を使用してデモ展示いたします。

IF・HOTARU は 3.125Gbps~100Gbps 超えの伝送スピードを『簡単』『高速』『安心』に使うて貰えるようシンプルなプロトコルと汎用コネクタ・ケーブルで実現した光インターフェース規格でマシンビジョン、映像機器、業務用印刷機、半導体関連装置、医用画像診断装置、科学技術機器などの画像領域に加え、無線機器、レーザー機器、各種計測機器など産業機器全般に使える標準規格を目指し、IF・HOTARU コンソーシアム(現在 30 社)を立ち上げ仕様策定を行い ver1.0 をリリースしています。

現在、CMOS イメージセンサの飛躍的な性能向上により高画質で高速なカメラを開発する事ができるようになってきました。しかし、メタルケーブルで伝送を行う従来の産業用カメラインターフェースの場合、『高速信号は伝送距離が短い』『高速信号用ケーブルは重たく固い』『メタルの高速信号ケーブルは切れるからロボットに載せられない』など新しいカメラ開発の障壁となっていました。今回の展示では IF・HOTARU インターフェース採用カメラ『株式会社アイジュール製 ID-12MB-HTR』を軽量・フレキシブル・低価格の光ファイバーで当社の画像入力ボード『HTR-6GX4』に接続し、従来のメタルケーブル伝送カメラの倍以上の性能を実現したデモを展示いたします。

■HTR-6GX4 の特長

- ・最大 4ch の光インターフェース対応
- ・IF HOTARU インターフェース(6.25Gbps)対応
- ・低価格 MM 光ケーブルで機器間伝送 100m が可能
(300m/1km/10km など中長距離はトランシーバ、光ファイバの変更で対応可能)
- ・PCI-e2.0(Gen2)x8 対応により 2,000MByte/sec 以上の入力性能
- ・Camera Link からの移行が容易



写真: HTR-6GX4

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社グラフィン 営業部 TEL 03-5493-1211 E-mail: sales@g-in.co.jp URL: <http://www.g-in.co.jp>